

2025 年 12 月 15 日

各 位

会 社 名 パスロジ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 小川 秀治  
(コード：4426、TOKYO PRO Market)  
問合せ先 管理部長 黛 慎一  
(TEL. 03-5283-2263)

### 投資有価証券の売却ならびに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、投資有価証券の一部を売却した結果、特別利益が発生することをお知らせいたします。  
また、2025 年 8 月 14 日公表の 2026 年 6 月期の通期業績予想につきまして、下記のとおり修正いたします。

#### 記

#### 1. 投資有価証券の売却について

##### (1) 売却の理由

当社は、資金運用関連規程に基づき、保有資産の有効活用及び経営資源の最適化を図るため、投資有価証券の一部を売却いたしました。

##### (2) 売却の内容

ア. 売却株式 当社が保有する上場有価証券 2 銘柄  
イ. 売却時期 2025 年 11 月  
ウ. 売却益 59,658 千円

##### (3) 今後の見通し

上記の投資有価証券の売却益 59,658 千円は、2026 年 6 月期第 2 四半期会計期間におきまして、特別利益として計上する見込みです。

なお、当該売却益の業績予想への影響につきましては、下記のとおり 2026 年 6 月期通期業績予想の修正に反映いたします。

#### 2. 2026 年 6 月期通期業績予想の修正

##### (1) 2026 年 6 月期通期業績予想数値の修正 (2025 年 7 月 1 日～2026 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業損失	経常損失	当期純損失	1 株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	393	△61	△50	△33	△16.61
今回修正予想 (B)	344	△90	△79	△13	△6.58
増減額 (B-A)	△49	△28	△29	19	10.03
増減率 (%)	—	—	—	—	—

##### (2) 修正の理由

当社の売上高は前回予想比で、49,509 千円の減少を見込んでおります。これに伴い、営業利益および経常利益も減少する見込みです。

当売上高の減少は、当社製品「PassLogic」の販売における以下の要因によるものです。

- ①主にサービス事業者向けのライセンス提供において、既存顧客の設備更新やリモートアクセス方式の見直し（DaaS 環境の構成変更、VPN の縮小等）により、契約更新が一時的に鈍化したこと
- ②新規案件の導入において、販売代理店や SIer・販売店等で構成される販売チャネルへの当社製品の認知および提案体制の整備が当初の想定ほど進捗せず、提案機会の創出が計画を下回ったこと
- ③一部の顧客においてシステム更改計画の変更等が発生し、売上計上時期が次期以降へ繰り延べされたこと

今回の売上高予想の修正は、顧客側のシステム構成の変更や日程調整に起因する計上時期の偏在および販売チャネル上の要因の影響が大きく、当社製品群の恒常的な競争力低下を直接示すものではないと認識しております。当社は、販売チャネルに向けた周知・研修・共同提案等の拡充、Microsoft 365 や SASE/SSE といった対応製品との連携強化による提案領域の拡大、カスタマーサクセス機能の本格稼働による更新率の回復と平準化を進めてまいります。合わせて、費用対効果を踏まえた販管費の抑制および投資配分の見直しを継続し、収益性の改善に取り組めます。

一方で、上記「1. 投資有価証券の売却について」の内容のとおり、投資有価証券の売却に伴い、59,658 千円の特別利益を計上する見込みとなりました。また、同時期に実施した投資有価証券の売買により、年間の受取配当金の予想金額も変更いたしました。

これらの結果、2026 年 6 月期通期業績の前回発表予想から、営業損失および経常損失は増加し、当期純損失は減少する見込みとなりました。

※上記業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上